

“知って得する情報!”として「療育手帳・愛の手帳・緑の手帳を持っているとどんな割引が受けられるのかな?」のお話がありました。また、“みんなの良いところ自慢!”のコーナーでは、参加者の発表に対して、「自分の好きなところ、ほめられたこと、これだけは負けないと思っていることを、大切にしてほしい。」と話されました。“仲間や友達をつくろう!増やそう!”のテーマについては、この全国大会に参加したことをきっかけに、午後の分科会で一緒になった人へ積極的に自分から話しかけてみようと呼び掛けられました。

午後からの第1分科会は、「みんなで話そう～はたらく～」をテーマに、助言者として出席された熊本県立荒尾支援学校 教諭 谷口和弘氏の講演がありました。また、参加者代表からの意見発表に対して、谷口氏からアドバイスもありました。その後はグループに分かれて、「楽しさ・仕事と余暇・悩み・同僚・夢・一般就労」について話し合いが行われました。

一方、バス観光ツアーは、快晴に恵まれ、午前9時には受付を済ませて、皆さん軽い足取りでバスに乗り込み、いざ出発!

今回、皆さんが一番の楽しみにされていた恐竜博物館へ向かいました。館内に入るなり恐竜の大きさに歓声があがりました。それぞれに興味津々で、携帯でたくさん写真を撮りました。見学を終えて「とても良かった!」と一同興奮気味!でした。

#### 【水前寺公園にて】



次はお楽しみの水前寺公園での昼食タイム。お弁当には熊本名産の“からしレンコン”が入っていて、熊本育ちのメンバーは「おいしい。おいしい。」と食べていましたが、大半のメンバーは初めての“からしレンコン”に「辛い〜!」「苦手や〜」と苦戦していました(笑)。

賑やかに楽しく昼食をすませ、昼食後は公園内を散策しました。公園内の池には白いカメが住んでおり、

“見つけると幸せになれる”とのいわれがあるそうで、みんなで必死に探しましたが・・・とうとう見つけることはできませんでした。皆さん少し落胆。けれど、あっち、こっちと皆で協力して一生懸命に探したことは楽しい思い出になりました(笑)。

その後は、修復工事中の熊本城を見学。暑いぐらいの陽気の中、天守閣まで皆さん元気いっぱい歩いて、歩いて。途中、地震で崩れた石垣を見て、「地震って、ほんまにこわい。」と皆さんは口々に・・・改めて、地震の恐ろしさを感じました。

#### 【修復工事中の熊本城をバックに】



熊本城の近くの城彩苑では、買い物、食べ歩きを楽しみました。全員で美味しいアイスクリームを食べてご満悦でした。そこで、メンバーの一人が「くまモンがいない。」「くまモンとツーショットの写真を撮りたい。」とぼつり。どうやら、街中のあらゆる所にくまモンがいると思っていた様です。翌日の全大会では、くまモンの登場に皆さん大はしゃぎ!残念ながらツーショット写真は叶いませんでしたが・・・

一日お付き合いしていただいたバスガイドさんもおしゃべり上手なおもしろい方で、バスの中も大盛り上がりで、今回も思い出に残る楽しいバスツアーになりました。

#### 会員向け学習会を開催しました

2月の勉強会は、「知っておきたい成年後見制度」～大阪市市民後見人の活動から～をテーマにシンポジウムが行われ、実際に市民後見人として活動されている会員の皆様からお話をお伺いしました。

コーディネーターは、ご自身も平成19年に市民後見人バンクに登録された、西部地域障がい者就業・生活支援センター 管理者 藤原勇治氏が務められ、シンポジストとして、淀川区支部の荒木氏、都島区支部から大野氏と高橋氏、そして福島育成園支部から松村氏の4名の皆様に御参加いただきました。